

第2回意見聴取(案)

三重県
平成25年12月16日

目 次

1 . 地域からの意見聴取の方法の検討	… 3
---------------------	-----

1. 地域からの意見聴取の方法の検討

1 - 1 基本的な考え方

地域からの意見聴取の目的

鈴鹿亀山道路の検討にあたって、県民とのみなさんのご意見を踏まえて検討

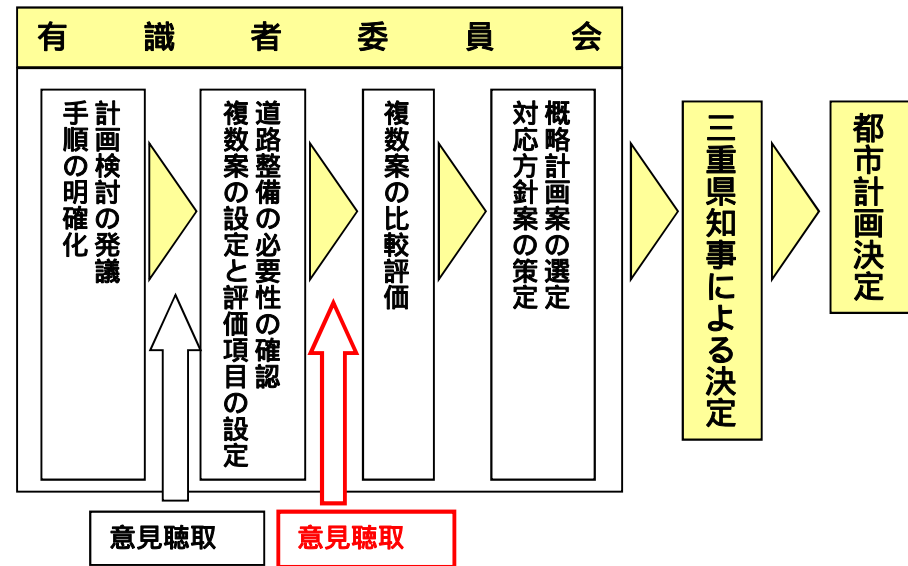
意見聴取

道路整備の必要性の意向や、複数案の設定と評価項目の設定に繋がる配慮すべき事項などを把握する

意見聴取

ルート帯などの複数案の評価につながり、ルートを決定する際の配慮すべき項目を把握する

都市計画決定までの流れ



意見聴取 の内容、対象範囲等

1. アンケート等による意見聴取の対象(案)

調査対象者	
県民等	三重県ホームページ上でのアンケート インターネットでの回答 県庁舎、県内市役所、道の駅、SA、PA等でのアンケート(紙媒体) 回収ボックスを設置
道路利用者	SA・PA等でのアンケート 聞き取り式
企業等	経済団体、物流関係企業 等 ヒアリング形式

2. 対話型による意見聴取の対象(案)

調査対象者	
三重県内居住者または就業者(公募100名程度)	100人協議会での意見聴取 テーブル討議形式

1 - 2 アンケート調査項目

アンケートの調査項目と活用方針

アンケートにより 明らかにしたい項目	問	アンケートの質問	アンケート結果の活用
回答者の属性	1	回答者の属性確認	回答者属性を把握する
整備の必要性	2	県がとりまとめた必要性に関する妥当性の確認	基本構造となる自動車専用道路としての整備やJCT・国道23号への接続などを導き出す必要性を確認する
政策目標と利用者、地域の期待する整備効果の整合	3	整備により項目ごとの期待される効果の確認	県民等広く期待されている効果の程度を確認する
ルート選定における配慮事項	4	ルート選定にあたっての配慮すべき点に関する意見 (社会面、経済面、環境面等)	ルート選定にあたって、回答者が重要視する観点を把握する 特に、最終1ルートに選定するための理由
	5	IC設置における配慮事項	
第1回アンケートの回答状況	6	回答者の確認	アンケートに関する関心度
その他自由意見	7	鈴鹿亀山道路についての自由意見	上記設問で把握できない個別意見等を把握する

1 - 3 アンケート案 - 1

鈴鹿亀山道路の計画検討に関する アンケート調査票

本アンケートは鈴鹿亀山道路の計画検討にあたり、地域のみなさまのご意見をお聴かせ頂くためのアンケート調査です。なお、環境影響評価法第三条の七の基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。

みなさまから頂いた意見については、集計後、三重県のホームページ等において、公表する予定です。

いただいた御意見は統計的に処理いたしますので、ご記入いただく方々にご迷惑をおかけすることはありません。また、他の目的での使用や、第三者に提供することはありませんので、ご協力をお願い致します。

～アンケート記入にあたってのお願い～

- 1) アンケートご記入の際には、別紙『鈴鹿亀山道路の計画概要』をお読み頂きますようお願いいたします。
- 2) 問1から順番にお読み頂き、回答を直接アンケート調査票にご記入下さい。
- 3) 記入済みのアンケート調査票は、平成26年1月20日までにアンケート配布場所に設置してある回収箱に投函いただくか、下記まで郵送またはFAXにて送付願います。
- 4) 詳細資料は、三重県県土整備部道路企画課、鈴鹿建設事務所事業推進室道路課、鈴鹿市土木部土木総務課及び亀山市建設部都市計画室での閲覧並びにウェブサイト『三重県の道路』の『みんなで考えよう！鈴鹿亀山道路』のトピックにて公表しています（配慮書の案は資料1～4）。また、同ホームページにてアンケートに回答することもできます。

<http://www.pref.mie.lg.jp/DOROKI/HP/suzukame/index.htm>

■お問い合わせ

三重県
県土整備部 道路企画課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL: 059-224-2739
FAX: 059-224-2310

問1 ご回答いただいた方ご自身のことについてお聞きします。

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。その他を選択された方は（ ）内に具体的な内容をお書き下さい。

1) 住所	() 都・道・府・県 () 市・町・村						
2) 性別	1. 男性		2. 女性				
3) 年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代			
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代以上				
4) 職業	1. 会社員・公務員・団体職員		2. 自営業	3. 学生			
	4. 家事手伝		5. 専業主婦・専業主夫		6. アルバイト・パート		
5) 自動車運転免許証の有無	1. 有		2. 無				

別紙資料『鈴鹿亀山道路の計画概要』をご覧のうえ、下記設問にお答え下さい。

問2 鈴鹿亀山道路の整備方針についてどのようにお考えですか？

○質問2-1

これまで県民等の皆様からお聞きしたご意見からは以下のような方向性があります。

- ・ 幹線道路を引き続き整備することが「必要」
 - ・ 現在事業中の「新名神高速道路」、「北勢バイパス」、「中勢バイパス」に次いで「鈴鹿亀山道路」を利用したいという意向が高い
 - ・ この地域の道路に求められる機能として「幹線道路の空白地の解消」や「更なる産業の活性化に寄与すること」、「幹線道路ネットワークの形成」、「災害時にも機能すること」
- この方向性について、妥当だと思いますか。（いずれか1つ選んで番号に○をつけてください）

①妥当と思う → 質問3へ ②どちらとも言えない → 質問2-2へ

③妥当と思わない → 質問2-2へ

○質問2-2

『どちらとも言えない』、『妥当と思わない』の理由を教えてください。

自由回答

問3 鈴鹿亀山道路が整備されることにより期待される効果として、あなたはどのように思われますか？

それぞれの項目について、考えに近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。その他、期待される効果として考えられることがあれば、自由欄にご自由にお書き下さい。

項目	そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分から ない
1) 高規格な幹線道路の空白地を解消により、高速道路への所要時間を短縮し、定時性を確保できること	1	2	3	4	5
2) 人口に対する工業製品出荷額日本一である三重県の産業の更なる活性化を支援できること	1	2	3	4	5
3) 主要な幹線道路を連絡し選択性を高めて、県内外、中部や近畿の広域連携を促進できること	1	2	3	4	5
4) 災害時に物資の輸送や復旧するための道路として利用できること	1	2	3	4	5
5) その他	1	2	3	4	5

自由欄

1 - 3 アンケート案 - 2

問4 鈴鹿亀山道路のルートを検討する際、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？

それぞれの項目について、考えに近いものを1つ選んで、番号にをつけてください。具体的な名称等や、その他に配慮すべき事項があれば、自由欄にご自由にお書き下さい。

項目	そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分から ない
1) 高速道路から商業地域や工業地域にスムーズに接続すること	1	2	3	4	5
2) 交差する既存道路の改良など必要な道路サービスを確認し、走りやすさとコストのバランスに重視した計画とすること	1	2	3	4	5
3) 市街地の渋滞解消に寄与すること	1	2	3	4	5
4) 県や地域の計画と整合を図り、地域全体の発展に寄与すること	1	2	3	4	5
5) 地域分断や家屋移転などが少ないこと	1	2	3	4	5
6) 施工期間中の生活への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
7) 大気質や騒音などの生活環境に配慮するため、できる限り集落や学校、病院から離れた位置に計画すること	1	2	3	4	5
8) 貴重な動植物が生息・生育する箇所など優れた自然環境が残された場所については、できる限り避けて計画すること	1	2	3	4	5
9) 地域にとって重要な史跡が残された場所については、できる限り避けて計画すること	1	2	3	4	5
10) その他(理由を下記にお書きください)	1	2	3	4	5
自由欄	(例えば、環境の保全の見地からのご意見等)				

問5 鈴鹿亀山道路のインターチェンジ設置を検討する際、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？

それぞれの項目について、考えに近いものを1つ選んで、番号にをつけてください。その他に配慮すべき事項があれば、自由欄にご自由にお書き下さい。

項目	そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分から ない
1) 他の幹線道路との乗り継ぎを円滑にすること	1	2	3	4	5
2) 工場等からのアクセスが良いこと	1	2	3	4	5
3) 市街地からのアクセスが良いこと	1	2	3	4	5
4) 市役所など、公共公益施設に近いところ	1	2	3	4	5
5) その他	1	2	3	4	5
自由欄					

問6 第1回アンケートにご回答いただいているか教えてください。

回答した 回答していない

問7 その他、鈴鹿亀山道路について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

その他、鈴鹿亀山道路について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

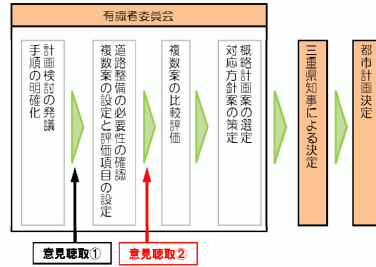
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

1 - 3 アンケート案 - 3

鈴鹿亀山道路の計画概要

本アンケートは、鈴鹿亀山道路の計画検討にあたり、みなさまのご意見をお聴かせ頂くためのアンケート調査です。（なお、環境影響評価法第三条の七に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。）

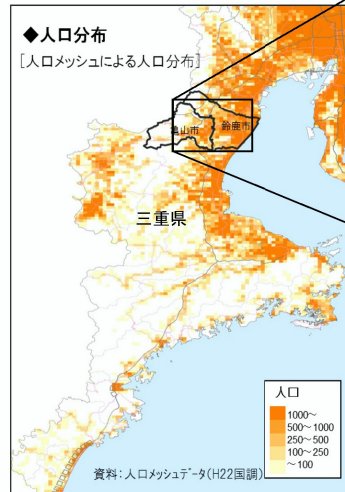
- **事業を実施しようとする者の氏名及び住所**
事業予定者の名称：三重県
代表者氏名：三重県知事 鈴木英敬
住所：三重県津市広明町13
- **事業の名称**
(仮称)都市計画道路 鈴鹿亀山道路
- **事業の内容**
起点：三重県鈴鹿市 終点：三重県亀山市
概略延長約10km



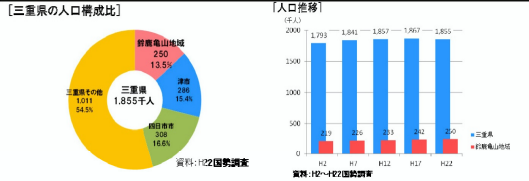
鈴鹿亀山道路とは

鈴鹿亀山道路は、東名阪自動車道や新名神高速道路と鈴鹿市街地を結び道路で、鈴鹿市北勢バイパス付近から亀山市亀山ジャンクション付近にまたがる延長約10kmの地域高規格道路です。現在、鈴鹿亀山道路の都市計画決定に向けた検討を行っています。

◆鈴鹿亀山道路の位置



- 三重県の人口は約186万人、その内、鈴鹿亀山地域が約25万人で約14%を占めており、この地域の人口は近年微増傾向
- 沿岸部周辺を中心に人口集中がみられるが、対象エリアでは内陸部にも人口分布が拡大



■お問い合わせ先

三重県 県土整備部 道路企画課

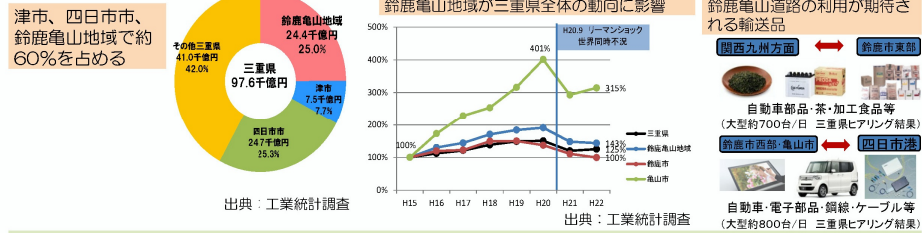
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL：059-224-2739
FAX：059-224-2310

※お問い合わせ対応時間 土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く平日8:30～17:15

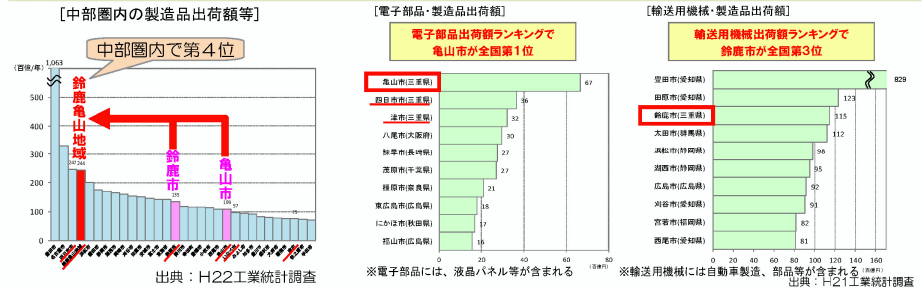
現状と課題① 産業集積地において、インターチェンジへのアクセス性に課題

- 工業製品出荷額等の地区別構成比で、津市、四日市市、鈴鹿亀山地域は、三重県全体の約60%を占め、県内全体の産業を支えています。
- 鈴鹿亀山地域は、電子部品や輸送用機械の出荷額で全国上位となるなど、全国的にも産業をリードする地域です。
- 電子部品や輸送用機械等を中心に関西等への輸送がこの地域の産業を支えています。

◆県の工業製品出荷額等の地区別構成比 ◆県の工業製品出荷額等の伸び率 ◆関西等への輸送



◆鈴鹿亀山地域の工業製品出荷額等のシェア



- 三重県の人口に対する工業製品出荷額等の割合は4年連続1位(H21～24)。
- H24.7に策定した「みえ産業振興戦略」では、全国リチウム電池(全固体リチウム二次電池：文部科学省、JST採択事業)に代表される成長産業や先端ものづくり産業など新産業新市場の創出をめざしています。

◆三重県産業の概況と新たな産業振興戦略

【人口に対する工業製品出荷額等の都道府県順位(千円)】

	2009	2010	2011	2012(速報値)
1 三重	5,013	5,264	5,098	5,395
2 愛知	4,642	5,156	4,991	5,131
3 滋賀	4,353	4,659	4,608	4,300
4 静岡	3,969	4,375	4,348	4,211
5 栃木	3,828	4,213	3,988	4,060
全国	2,080	2,258	2,230	2,174

リチウム二次電池開発プロジェクト (県産企業との連携)

スマートフォン、携帯電話等に用いられているリチウム二次電池は、蓄電量として3に有機電解質が使用されていることから、発熱による火災等の原因となっており、安全な蓄電池の開発が求められている。

2011年6回モノづくり連携大会・日刊工業新聞社賞

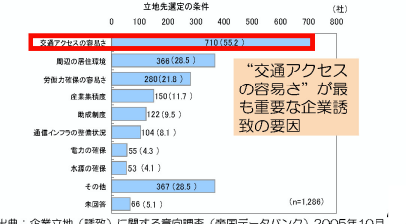
- 産業集積地において、鈴鹿亀山地域は、他都市と比較しても、インターチェンジへのアクセス性に問題があります。
- 交通アクセス性の問題は、優れた立地性を発揮できず、企業誘致に於ける障壁とならねないと考えられます。

◆全国製造品出荷額市町村別順位

他都市と比べ、出荷額は高いがICまでの所要時間が長い鈴鹿市

順位	市町村名	市町村より約15分以内でアクセス可能な高規格幹線道路または地域高規格道路※
1	豊田市(愛知県)	東海環状自動車道
2	津原市(千葉県)	鴨山自動車道
3	大原市(大分県)	北九州自動車道
4	特別区部(東京都)	首都高湾岸線
5	川崎市(神奈川県)	首都高湾岸線
6	藤沢市(神奈川県)	首都高湾岸線
7	横浜市長谷(神奈川県)	首都高湾岸線
8	名古屋市(愛知県)	名古屋高速道路
9	神戸市(兵庫県)	阪神高速道路
10	堺市(大阪府)	阪神高速道路
11	四日市市(三重県)	(四日市インター)近畿自動車道
12	津市(三重県)	東名高速道路
13	浜松市(静岡県)	東名高速道路
14	北九州市(福岡県)	北九州自動車道
15	鈴鹿市(三重県)	鈴鹿亀山道路
16	大分市(大分県)	北九州自動車道
17	大津市(滋賀県)	北九州自動車道
18	福山市(広島県)	山陽自動車道
19	豊田市(愛知県)	東名高速道路
20	岐阜市(岐阜県)	東名高速道路
21	宇都宮市(栃木県)	新幹線山手線
22	鈴鹿市(三重県)	東名高速道路
23	岡崎市(愛知県)	東名高速道路
24	鈴鹿市(三重県)	鈴鹿亀山道路
25	津市(三重県)	東名高速道路
26	津市(三重県)	東名高速道路
27	津市(三重県)	東名高速道路
28	津市(三重県)	東名高速道路

◆企業立地の意向



1 - 3 アンケート案 - 4

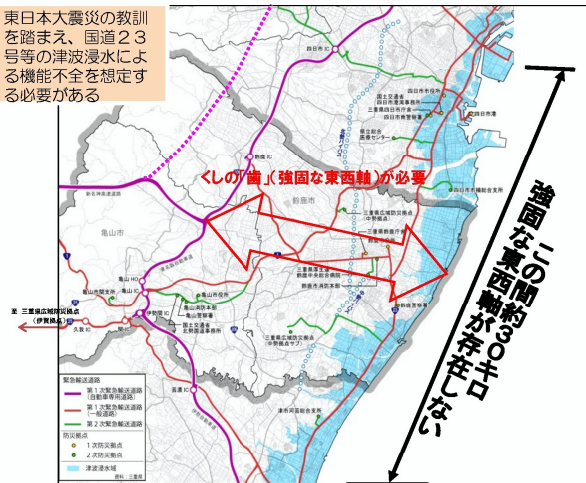
現状と課題②

災害時に機能する強固な東西軸の不足

- 南海トラフ巨大地震等の大規模地震の発生が予測される中、鈴鹿亀山地域周辺には、くしの「歯」(強固な東西軸)がありません。
- 津波浸水により国道23号が使えなくなるとも想定し、人命はもとより、沿岸部に点在する企業の継続的な活動を守ることが重要です。

◆沿岸部と内陸部の連結による災害時の全体的な備え

東日本大震災の教訓を踏まえ、国道23号等の津波浸水による機能不全を想定する必要がある



出典：平成24年度 中部版 くしの歯作戦

意見聴取①結果

意見聴取①の概要

- 鈴鹿亀山道路の検討は、県民等の皆様のご意見をお聞きしながらすすめています。

方法	概要	実施時期	お聞きした人数
アンケート調査	HPにアンケートを掲載 同内容の用紙を関係機関に設置	H25.9.10~H25.9.30	1,599名
	県広報紙にアンケートを掲載	H25.9.1~H25.9.25	348名
ヒアリング調査	関係団体に聞き取り	H25.10.8~H25.11.14	4団体
	鈴鹿パルーンフェスティバルの来場者に聞き取り	H25.9.15	81名
100人協議会	8~10名を1グループで意見交換	H25.9.1	147名



アンケートの様子(県庁)



ヒアリングの様子
(鈴鹿パルーンフェスタ)



100人協議会の様子

現状と課題③

多数の箇所が発生している渋滞

- 三重県の高速度道路では、東名阪自動車道が主要渋滞箇所になっています
- 鈴鹿亀山地域には多くの主要渋滞ポイントおよび主要渋滞区間が存在しています

◆鈴鹿亀山地域の渋滞発生状況



資料) 三重県道路交通渋滞対策推進協議会 (H25.1)

意見聴取①結果

鈴鹿亀山地域の道路に関する課題

- 鈴鹿亀山地域の道路等に関する課題として、主に以下のような意見があげられました。

分野	主なご意見
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・産業の活性化には道路が不可欠、企業誘致に期待<100> ・産業の発展、物流の向上のために整備を望む<100> ・輸送や業務で利用する道路と日常生活で利用する道路の使い分けが必要<アンケ> ・ICまでのアクセスが悪い、時間短縮を望む<アンケ、100> ・ICが遅いため、高速道路を利用しないことがある<ヒア> ・沿岸部や鈴鹿市街地、神戸長尺線沿線の企業にICアクセス改善へのニーズが多い<ヒア> ・高規格の道路を望む(複数車線の自専道)<100> ・伊勢神宮をはじめ、県内各地への観光来訪のニーズは関西圏からも非常に高い<アンケ、ヒア>
道路ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・広域道路：多重なネットワークで経路の選択ができることは、産業面(競争力の向上、企業立地促進)、観光面(時間が読める、訪問地が増える、広域連携ができる)などの効果が期待できる<ヒア> ・選択性が増えることは、防災(有事対策)にも寄与する<ヒア> ・鈴鹿市、亀山市、及び三重県の発展のために整備を望む<100> ・計画から整備まで時間がかかるのでは<100> ・道路整備を行うことで財政面に悪影響が出ないか不安<100>
地域の道路	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路からのアクセスの向上を望む<100> ・「交通事故や渋滞など日常生活に不安」の割合が高い<アンケ> ・交通の分散により、渋滞の緩和等の効果を期待<100、アンケ> ・まっすぐな幹線道路が無い、カーブが多くて走りにくい<100、アンケ> ・安全で便利な道路を望む、わかりやすい道路になっている<100、アンケ> ・高速道・国道以外の道路整備(自転車道や歩道を含む)が極めて遅れている<アンケ> ・生活交通と産業交通を分けて欲しい<100、ヒア>
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・「台風や津波などの災害時に不安」の割合が最も高い<アンケ> ・「救急・救命活動を支える道路」、「緊急車両が早く到達できる道路」を望む声が高い<アンケ> ・災害時に孤立化するのを恐れている(以前落橋した経験)<100、アンケ> ・災害時の代替道路が必要<アンケ> ・海まで(亀山JTから国道23号まで)つながった東西軸を望む<100> ・普段の生活でも、病院へのアクセスに苦労に不便を感じている<100> ・耐久性の高い、複数車線の道路を望む<100>

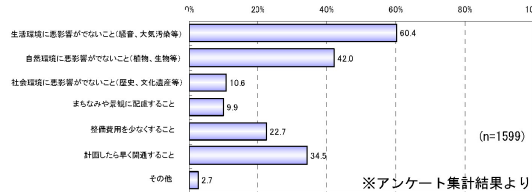
※100：100人協議会(テーブル討議、ふりかえりシート) / アンケ：アンケート調査 / ヒア：ヒアリング調査 によるもの

1 - 3 アンケート案 - 5

意見聴取①結果 環境に関する意見と環境配慮事項

- 県民全体の意見としては、今後、道路整備を行う場合に気をつけることとして、「生活環境に悪影響が出ないこと」、「自然環境に悪影響が出ないこと」が高くなっています。
- 当該地域の住民や関係者からは、景観や重要な史跡等に配慮することが望まれています。

問 今後、道路整備を行う場合、気をつけるべきことは何ですか？



環境配慮事項について

環境要素	影響要因	施設等の存在及び供用道路の存在	自転車の走行
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	○	○
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	騒音及び超低周波音	○	○
	動物	○	○
	植物	○	○
	生態系	○	○
その他	重要な史跡	○	○

※環境影響評価法において重大な影響を受けるおそれがある環境要素について把握

景観・重要な史跡等に関する意見

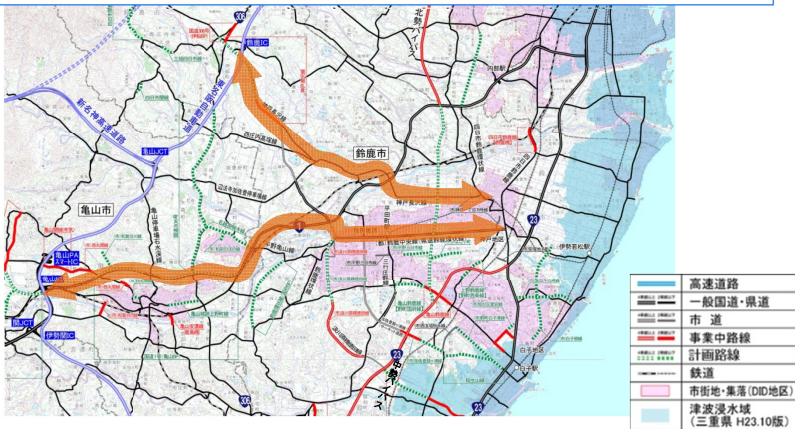
- ・景観を考慮して都市づくりをしてほしい
 - ・生活に根差した施設、歴史的な価値がある施設(歴史的な遺産、神社、遺跡、重要な古墳など)を保全してほしい。
 - ・能褒野王塚古墳周辺については宮内庁管理であり、重要度は非常に高い。
 - ・伊勢国府跡のうち、国指定史跡として指定されている政庁跡などを中心とする範囲については道路をかけないことを望む。
 - ・並木、歩道、サイクリングコース(を望む)
- ※アンケート集計結果、関係機関ヒアリングより



ルート帯の検討 現道活用について

- ・現道活用となり得る道路は、東西に通行する幹線道路であり、4車線化事業中となっている県道神戸長沢線と、国道1号〜鈴鹿中央線が候補として考えられる
- ・現道利用候補路線には、平成25年1月指定の主要渋滞ポイント及び区間があり、4車線化等を実施した場合でも新たに誘発交通を生むなど、根本的な渋滞解消につながらない。また、別線の計画に比べ、速達性や定時性に劣り、産業交通と生活交通の分離ができない。

⇒以上のことから、現道活用は課題の解決や政策目標の達成が困難であり、自動車専用道路等での整備が必要



ルート帯案の概要

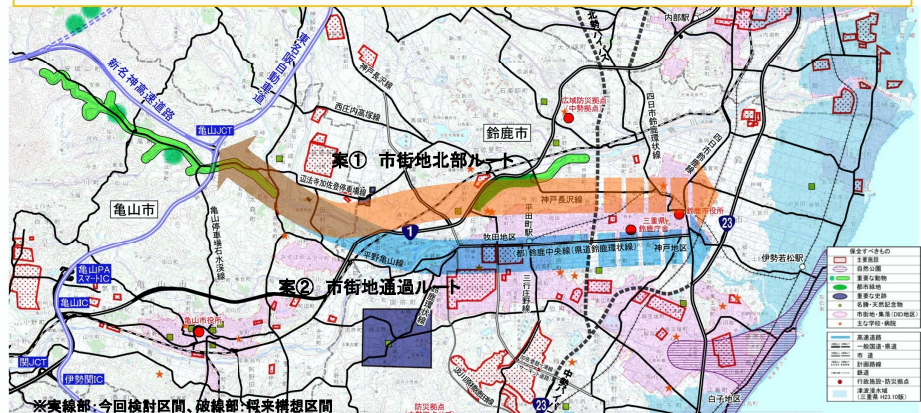
鈴鹿亀山道路は、次に示す考え方に即してルートの検討を進めます。

【コンセプト】

1. 工業製品出荷額等日本一の産業を支える道路基盤の充実
2. 中部・近畿や県内の連携強化のため、選択性のあるネットワークの確保
3. 災害時にも社会経済活動を継続し地域の持つポテンシャルを早期復元できる道路機能の強化

【ルートの考え方】

1. 産業基盤を支える道路として、滋賀・京都等と更なる連携強化を図ることに寄与する亀山ジャンクション付近で接続する
2. 名古屋方面等との広域的な連携をスムーズにするとともに、地域の発展にも寄与する交通需要の大きな拠点(牧田、神戸地区等)にも近いルートとする



評価項目	現況	案① 市街地北部ルート	案② 市街地通過ルート
地域の現状や課題、政策目標に応じた項目設定	—	生活環境の保全を重視し、既存の道路等と連携して経済的に課題解消を図る案	市街地と直接連絡して当該道路で課題解消を図る案
道路規格	—	設計速度: 80~100km/h 自動車専用道路	—
区間延長	—	約10km	約10km
産業支援関連	①亀山JCT〜神戸地区(鈴鹿市役所の所要時間) ②約29分 ③約25分 ④15分インターアクセス至乗車 ⑤亀山JCT〜朝陽工業団地の所要時間	①約16分 (約13分短縮) ②約29分 (約12分短縮) ③約43% (約18%の拡大) ④約49% (約6%の拡大) ⑤約12分 (約28分短縮)	①約15分 (約14分短縮) ②約25分 (約16分短縮) ③約50% (約25%の拡大) ④約47% (約4%の拡大) ⑤約12分 (約28分短縮)
広域ネットワーク関連	①鈴鹿市街地〜名古屋(名古屋西IC) ピーク時の所要時間 □ 時間帯差 オフピーク時の所要時間 □ 時間差	①約67分 ②約53分	①約55分 □ 約8分 ②約47分 □ 約6分
防災関連	①沿岸部(津波浸水区域)へのアクセス性 ②亀山JCT〜広域防災拠点(中勢)の所要時間 ③広域防災拠点(中勢)〜県庁の所要時間 ④広域防災拠点(中勢)〜広域防災拠点(伊賀)の所要時間	①沿岸部へのアクセス性が向上(遠回りな東西線)が存在しない ②約15分 (約11分短縮) ③約32分 (約11分短縮) ④約43分 (約7分短縮)	①沿岸部へのアクセス性が向上 ②約17分 (約9分短縮) ③約34分 (約9分短縮) ④約40分 (約5分短縮)
周辺主要道路の交通量	①(鈴鹿中央線(東濃鈴鹿環状線)の交通量削減効果) ②約9%削減	①約16%削減 ②約9%削減	①約24%削減 ②約5%削減
生活環境への影響	①(大気質)市街地・集落(DID地区) ②(騒音・超低周波音)市街地・集落(DID地区) ③(重要な史跡)重要な史跡	①概ね回避するものと予測、影響の可能性小 ②概ね回避するものと予測、影響の可能性あり ③通過するものと予測、影響の可能性あり	①通過するものと予測、影響の可能性あり ②通過するものと予測、影響の可能性あり ③通過するものと予測、影響の可能性あり
自然環境等への影響	①(動物)安家川や鈴鹿川 ②(植物)天然記念物 ③(生態系)良好な自然環境	①通過するものと予測、影響の可能性あり ②概ね回避するものと予測、影響の可能性小 ③概ね回避するものと予測、影響の可能性小	①通過するものと予測、影響の可能性あり ②概ね回避するものと予測、影響の可能性小 ③概ね回避するものと予測、影響の可能性小
工事期間中の交通への影響	—	交通規制が少なく、交通への影響は小さい	—
建設期間	—	市街地や集落の多くを避け、支障となる家屋が少ないため、建設期間が特に長期となる恐れが少ない	支障となる家屋が多く、建設期間が長期となる恐れがある
事業費	—	約540億円	約790億円

(延長、整備効果等については今回検討区間で算出)

詳細資料は、三重県国土整備部道路企画課、鈴鹿建設事務所事業推進室道路課、鈴鹿市土木部土木総務課及び亀山市建設部都市計画室での閲覧並びにウェブサイト「三重県の道路、の!みんなで考えよう!鈴鹿亀山道路」のトップにて公表しています。